

## 人権についての電話による相談窓口（平日のみ）

同和問題をはじめとするさまざまな人権問題

熊本県人権センター ☎ 384-5822

午前9時～正午と午後1時～4時

法律問題、人権問題、人権侵害への救済について

みんなの人権110番 ☎ 0570-003-110

午前8時30分～午後5時15分

女性の人権

女性の人権ホットライン ☎ 0570-070-810

午前8時30分～午後5時15分

障がい者の人権および権利擁護

障がい者110番 ☎ 354-4110 午後1時～5時

子どもの人権

子どもの人権110番 ☎ 0120-007-110

午前8時30分～午後5時15分

いじめについて

益城町いじめ電話相談 ☎ 286-1770

午前8時30分～午後5時15分

さまざまな人権問題

益城町福祉課人権対策係 ☎ 286-3115

午前8時30分～午後5時15分

MASHIKI TOWN  
結婚対策協議会  
クローバーましき  
ニュース  
For Good Marriage

Vol.55

## 相手の人柄を知るには

「馬には乗ってみよ人には添うてみよ」ということわざを聞いたことがありますか？ 馬の良しあしは乗らなければ判断できないし、人柄の善しあしも生活を共にしなければわからないという意味で、昔は、縁談を勧めるときによく使われていたそうです。現代では、何事も先入観を持たずに、まず自分で経験してみるべきという意味で使われています。

ことわざのとおり、人柄は深く付き合わないといけないものです。結婚へなかなか進めないときは、まず相手のことを知ろうと努力することが大事かもしれません。



☎ 益城町結婚対策協議会（総務課 男女協働参画係）

☎ 286-6665 FAX 286-4523

✉ danjyo@town.mashiki.lg.jp

## 人権教育シリーズ

益城町教育委員会

Vol.485

## 物事の背景を知ることの大切さ

お正月やひな祭り、七夕など、日本には子どもたちが楽しみにしている年中行事がたくさんあります。しかし、それぞれの行事の起こりについては、分かっているようで、詳細は理解できていないことが多いのかもしれません。

最近、日本の年中行事の中に、外国のお祭りも見られるようになりました。その1つが10月31日に行われる「ハロウィン」。仮装した子どもたちが、「お菓子をくれないといたずらするぞ!」と言って、近所の家々を回ります。「ジャック・オ・ランタン」と呼ばれるカボチャをくり抜いて作られた飾りは、大変有名です。

ところで、そもそもハロウィンとはどんな祭りなのでしょう？ 調べてみると、今から2千年以上前、ヨーロッパの古代ケルト人たちの間で10月31日は、亡くなった人の魂が家族のもとへ戻ってくる日として信じられていたそうです。ただ、死者の魂とともに悪い霊も一緒にやってくると考えられ、その悪い霊に人間だと気付かれないために、仮面をつけて身を守っていたのが、「ハロウィン」の起こりだということです。

現在は、宗教的な意味合いはほとんどなくなり、家を飾り付けたり、子どもたちが魔女やお化けに仮装して近所の家を回り、お菓子をもらったりする風習だけが残されています。

お祭り、行事、祝日などには、これまで大切にされてきた独自の文化があります。それは外国においても同じことです。私たちは、日常生活のいろいろな場面で、表面的なことばかりでなく、物事の背景にある大切な部分に、いま一度目を向けたいものです。

また、子どもたちに、地域のお祭りや行事の意味を教え、積極的に参加させることにより、人と人との絆を大切に、故郷を愛する子どもたちを育てていきたいものです。